

地域高規格道路松本系魚川連絡道路意見交換会まとめ

市町村名	堀金村		
開催日時	第1回 9月26日 第2回 10月9日、10日、13日 第3回 10月22日、24日、29日 第4回 11月12日、16日 第5回 11月21日 合同11月27日		
1.道路行政全般について	・ 今ある道路の拡幅と新たに道路を造った場合の長いスパンで考えた時のコストの検討が必要。		・ 国民1人550万円の借金。5,000億円の高規格道路建設より生活道路改善や社会福祉に。 ・ 道路の格下げ、関連道路新設による県、村の維持管理費増。全体として維持管理費増。
2.地域の課題、問題点（まちづくり、自然、生活）	・ 生活道路の整備・拡充など緊急的住民の切実な問題が山積されている。 ・ 基盤整備をした。畑を平にし、自然を壊していいのか本当に涙がでたが、これをしなければ農業を守れなかった。国、県の施策のミスである。土木・農林課など連携が必要。 ・ 道路建設をつきつめると堀金村の村づくり、どういう特色出すかということにつながる。 ・ 農業の分野の意見はどうなっているのか、1km30～50億円の税金を使うのか（血税） ・ 農家の生活ができない。飯が食っていけない、後継ぎもいない、生産に合わない、荒廃地が多く（今13ha）ある。		・ 今の時代と道路必要性の関連。道づくりの検討から高規格道路の必要性が浮きぼりに。 ・ 将来交通量、経済、人口、国営公園、スキー客減少からも4車線が必要か。特定時期を除き渋滞はなく広域交流から今の道路網で十分。この道が必要か疑問。 ・ 道路建設に向けたプロセスは大事。 ・ 高速間を結ぶ高規格だが中部縦貫がままならないのに、なぜ波田～糸魚川なのか。安曇野の将来展望、構想は。住民の統一見解は。高規格なしで安曇野はだめなのか。 ・ 住民の声を聞く。住民が考える機会があれば村を見直すことも出来る。 ・ 合理的土地利用、優良農地保全、景観作成、田園風景を守る堀金村第4次総合計画の推進に支障。 ・ 全国に先駆けたモデル道路を考える視点から計画を考え直す。 ・ ひとびとの価値観が多様化している今、多面的な見直しが必要。 ・ 緊急移動体制を検討しているのか、山間部は緊急車輛の移動よりヘリコプターが効果的。
3.道路の必要性（建設の是非）	・ 広域の道づくりは必要。 ・ 豊科～白馬は開発が速く生活道路整備が追いつかず、高規格道路によるバイパス機能で生活道路から通過車輛を除く。生活道路の交通量減は交通環境面の向上、混雑・渋滞解消、生活道路の確保。 ・ 高規格道路を糧に土地に付加価値をつけ、農家を元気づける。 ・ 高規格道路による観光地へのアクセス、地域活性化。道路が雇用や産業を創出。雇用安定、村財政アップ。 ・ 高規格道路は消費者と生産者を短時間で結び、産直、今朝取れたものがその日の食卓に。		・ 高規格道路により物流面で便利になるとあるが、それだけの品目と量があるのか疑問。 ・ 現状の移動時間がそれほど問題か。そんなに早くスピード化する必要があるのか。 ・ 安曇野に観光客は何を求めてくるのか。高速道路で通過するだけが求められていない。 ・ 30年前に堀金村へ来たが、景色は全く違った。 ・ 堀金村をどうするか。堀金村を都会の人はどう考えるか。 ・ 堀金村の自然は絶対失いたくない。これ以上の開発はやめてもらいたい。 ・ 景観破壊につながり、安曇野の財産を損なう。安曇野を世界遺産に、との観点から逆行。 ・ 安曇野の南北を縦断する道路は地球環境や人類生存から考えれば負の財産。 ・ 農業道路は田んぼへ行くにも、道路横断も命がけ。農業中心に、農地・農家・広域農道、生活道路整備、豊科～堀金間の整備にお金を使って欲しい。 ・ 現行道路の改良、拡充で充分。費用も少なくてすむ。 ・ 一部渋滞の解消を優先。信号機・歩道の整備による安全対策が必要。また、生活道路の交差点拡幅、信号機の動作変更による改善や観光客の地元交通機関の利用で渋滞解消。 ・ 交通面の生活道路利用者への迷惑緩和は現状道路の改善整備より利用者サービスが向上。 ・ 現状の生活道路整備への投資が優先。少ないお金を優先順に効果的に使う工夫が必要。また、松本塩尻方面の渋滞対策が必要。バイパス機能と市街地進入路の整備から緩和。 ・ 地域にどんな道路が必要か。今ある高速道、県道を基軸とし在来道路とのアクセス整備。 ・ 30年の隔たり、計画見直しも必要。負の事業が必要か。 ・ 高規格道路沿線は通過点で住民として反対。自分の身に降りかかれば反対と言う。 ・ 道路が必要という要望があり、そのための調査・予測は道路建設の利点が強調、費用対効果は交通量も含め疑問。見通しが甘い。
4.整備手法、ルート案	・ 中部縦貫道の計画が具体化していない現在、豊科ICを起点とした高瀬川堤防を利用し護岸工事を兼ねたルートがコスト的にも安価であり一石二鳥であるので推薦したい。 ・ 道を造るなら景観に配慮したバイパス（豊科ICから高瀬川沿い）で充分ではないか。 ・ 減反政策により休耕田や荒地が増加する中で、道路建設による用地の占める割合と休耕地との比率を考え、道路買収費として地元にとされるお金で新たな産業を生み出していく素地があるのではないか。 ・ 経済効果はマイナスではないか。高規格道路ができて村が栄えるか。通過する車両はあるが、道の駅に村の特色をもたせれば堀金村に降りてくれる。 ・ 田園風景や景観が破壊されると言うなら、それなりの代償を農家に支払うこと。		・ 道路建設による三角形の残地では機械作業ができず、土地が荒廃。自然生活環境で気象条件、地下水脈、騒音・振動・排ガスなどが懸念され、農作物に悪影響を及ぼす。 ・ 自然破壊・景観を損なう、地域の分断、建設費増大、遺跡保存から山麓ルートは反対。
5.今後の進め方について	・ 道路・高規格計画の調査資料を提供し説明責任を果たす。		
6.意見交換会について	・ この意見交換会の模様をインターネット、広報等で住民に知らせることを提案致します。		